

## 平成28年(2016年)佐久地方事務所おもなできごと

月	内 容
1月	<p><b>しあわせ信州移動知事室を佐久地域で開催【地域政策課】</b></p> <p>第3回目となる「しあわせ信州移動知事室」を、佐久地域で1月18日から21日に開催しました。これは県民と知事とのコミュニケーションの機会を新たに創出し、共感と対話の県政を推進していく取組です。</p> <p>青年農業者との対話や北相木村山村留学の視察、「誰もが安心して子育てできる環境づくり」をテーマとした県政ランチミーティング、地域資源を活用した製品の発表会等を実施しました。</p> 
2月	<p><b>佐久地域景観賞の表彰式を開催【建築課】</b></p> <p>2月10日に、佐久地域景観賞の表彰式を行いました。この景観賞は、佐久地域特有の環境や情緒を生かし、地域住民のまちづくりや景観に対する関心を高め、美しい景観づくりを推進するため、佐久地域景観協議会において2年ごとに募集しており、今回で10回目となります。</p> <p>地域景観創造部門として軽井沢町の「JUSANSOU」、まちづくり活動部門として佐久穂町の「大石花ももの里実行委員会」に、それぞれ最も良好な景観づくりに寄与したものとして会長賞を授与しました。</p> 
4月	<p><b>佐久南部広域農道「佐久市から佐久穂町区間」が開通【農地整備課】</b></p> <p>工事を進めている佐久南部広域農道のうち、佐久市切原から佐久穂町上までの区間 約1.6Km(切原・上トンネルL=314m含む)が完成し供用を開始しました。</p> <p>今回の開通により、既に供用している区間と併せて、県道上小田切臼田停車場線から国道299号までの間 約7.0kmが繋がり、地域の農産物輸送や生活交通の利便性向上に寄与しています。</p> 
5月	<p><b>小海町で佐久地区森林祭(全国植樹祭県民植樹)を開催【林務課】</b></p> <p>6月5日に第67回全国植樹祭が長野市Mウエーブを式典会場に、県下10地域を県民植樹会場にして開催されました。佐久地域の県民植樹会場では、5月29日に小海町総合グラウンド周辺に林業関係者や県民約400人が参加して盛大に開催されました。</p> <p>森林祭式典では、小海小学校みどりの少年団による「緑のふれあい宣言」がされ、参加者によりサラサドウダンツツジやレンゲツツジを1,500本植栽しました。</p> 
7月	<p><b>小海町で県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会を開催【地域政策課】</b></p> <p>7月31日に小海町総合グラウンドにおいて、県消防協会主催による「第58回長野県消防ポンプ操法大会」及び「第25回長野県消防ラッパ吹奏大会」が開催されました。</p> <p>大会では、県内の各地区大会を勝ち抜いた13チーム(ポンプ車操法は12チーム)が日頃の訓練の成果を披露しました。</p> <p>優勝は、第1部ポンプ車操法の部は諏訪市消防団、第2部小型ポンプ操法の部は川上村消防団、ラッパ吹奏の部は須坂市消防団でした。</p> <p>なお、10月14日に長野市南長野運動公園オリンピックスタジアムで開催された「消防団の甲子園」ともよばれる「第25回全国消防操法長野大会」では、小型ポンプ操法の部に出場した川上村消防団が準優勝に輝きました。</p> 

月	内 容
7月	<p><b>信州プレデスティネーションキャンペーンでエクスカーションを実施【商工観光課】</b></p> <p>平成29年7月～9月にかけて、観光PRイベント『信州デスティネーションキャンペーン(DC)』が実施されることに伴い、プレDC期間となる今年、全国の旅行・観光関係業者を招待し、実際に観光地を視察・体験していただく「エクスカーション」を実施しました。</p> <p>佐久・諏訪地域が共同で立案した「高原のリゾートと歴史・文化を楽しむコース」には30名が参加。佐久穂町「白駒の池 苔の森」、佐久市「びんころ地蔵」、軽井沢町「発地市庭」「ライジング・フィールド軽井沢」をご案内し、佐久市において地ビール・地酒の試飲、びんころ御膳・ケーキの試食をしていただきました。いずれも魅力的な観光素材であると、参加者から高い評価を受けました。</p> 
9月	<p><b>全国初「サンプルーン種飛ばしグランプリ2016」を開催【農政課】</b></p> <p>サンプルーン発祥の地である佐久市にて、生食の普及と生産者の栽培意欲高揚を目的に、全国初開催となる「サンプルーン種飛ばしグランプリ」を開催しました。当日は参加者100名がそれぞれの思いを込めて、サンプルーン1個を完食した後で種を思いっきり飛ばしました。生食のおいしさが幅広い年代層に伝わった他、旬のサンプルーンの即売も行われ参加者、生産者ともに満足いただける取組になり、継続したイベント開催が期待されています。</p> 
9月	<p><b>G7長野県・軽井沢交通大臣会合の開催【商工観光課】</b></p> <p>G7伊勢志摩サミットの最後の関連会合として、軽井沢町で交通大臣会合が9月24日に開催され、交通インフラ整備や自動運転などの最新技術の開発・普及などをテーマにした、「G7長野県・軽井沢交通大臣会合宣言」が採択されました。</p> <p>この会議に先立ち、前日の23日に歓迎レセプションが催されました。佐久地域の13の酒蔵が共同で造った地酒「SAKU13」の乾杯に始まり、信州サーモンや野菜などの地元食材を使った料理や日本酒・ワインの振る舞いの他、木遣りや和太鼓の実演などのアトラクションも行われ、G7各国に長野県と軽井沢の魅力を存分にPRしました。</p> 
10月	<p><b>「2016環境フェアin佐久」を開催【環境課】</b></p> <p>10月1日、2日に家畜改良センター長野支場ふれあい広場において、環境保全に関する取組を紹介し『やってみよう！未来を変える エコライフ』をテーマに、豊かな環境づくり佐久地域会議と県の主催により開催しました。自然エネルギー関連設備の紹介や燃料電池自動車(トヨタ)等のエコに関する展示、ソーラーミニカー・木工工作会、エコバックづくり等の体験ブースの他各出展者による全26ブースを設け、約5,000人に来場いただきました。</p> 
10月	<p><b>佐久市で県総合防災訓練を開催【地域政策課】</b></p> <p>10月2日に、佐久市内(臼田総合運動公園、佐久医療センター、佐久平駅周辺)で「長野県総合防災訓練」が開催されました。</p> <p>この訓練は、毎年県内のいずれかで行われており、行政と消防や警察、自衛隊等関係機関、地元住民の皆さんが一緒になって行う大規模な訓練で、今年は、浅間山が噴火した想定のもと、臼田の現地対策本部との通信訓練や土砂崩落からの救出訓練等、多くの実践的な訓練が行われました。</p> 
10月	<p><b>鳥インフルエンザに備えた防疫演習を開催【農政課】</b></p> <p>鳥インフルエンザウイルスを保菌する渡り鳥の飛来シーズンを前に、管内で高病原性鳥インフルエンザが発生した際の初動対応や防護服の着脱、消毒ポイントの運営を確認する鳥インフルエンザの防疫演習を開催しました。当日は市町村、保健福祉事務所、県機関をはじめ警察、建設業協会など約70名が参加のもと、机上演習や訓練作業を実体験するなど、事前準備の大切さについて学んでいただきました。</p> 

月	内 容
11月	<p><b>農業用水を活用した小水力発電計画がスタート【農地整備課】</b></p> <p>昨年県が主催した、発電事業者から水路管理者(土地改良区)への技術提案プレゼンテーションを契機に2件の民間による発電計画が動き始めました。そのうち1件(立科町芦田、水路管理者=北佐久郡川西土地改良区連合)について、今年11月起工式が行われました。農業用水が持つ再生可能エネルギーの有効活用に期待が寄せられています。</p> 
11月	<p><b>JR大阪駅で東信州の魅力をPR【商工観光課】</b></p> <p>本年度NHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、上田・佐久地域は、真田氏ゆかりの地として全国から注目を集めました。これを契機として、真田幸村と関連の深い関西地域からの誘客を図り、広域・滞在型観光を促進させるため、11月19日、20日の2日間、JR大阪駅で実施された『新潟・長野 観光物産展～北陸新幹線より近くなった新潟・長野へ！～』に参加しました。佐久地域在住の「信州の酒PR大使 由井 志織」さんにご協力いただき、佐久地域の日本酒や小海線沿線地域を始めとする東信州地域の観光PRを行いました。</p> 
通年	<p><b>天候に左右された野菜の生産販売【農政課】</b></p> <p>暖冬となった本年は、春先からレタス・はくさい等の高原野菜の作付が順調に進んだことから全国的に豊作基調となり、夏場の野菜価格が低迷しました。8月のお盆以降は、度重なる台風が接近したことにより、一転して作柄が不安定となり出荷量が減少。野菜の販売価格が高騰し、食卓へ影響が出るなど天候に左右された野菜の生産販売となりました。</p> 
通年	<p><b>森林認証制度の取組を開始【林務課】</b></p> <p>佐久地域のカラマツ林が適正に管理されていることを第三者機関が認証することにより、他地域や他の樹種等との区別し、付加価値を付けた優位性を図るとともに、森林破壊や森林の劣化を防ごうとする制度として、今年度から佐久地域の公有林(市町村有林、県有林)について森林管理認証を進める取組を始めました。</p> 